

2月28日第75回卒業式が行われました。非常に良い天気のもと1、2年生は教室でのリモート参加を、卒業生のご家族にはマ



スク着用にての参列をして頂き、卒業生入場から式は始まりました。卒業証書授与では、各学科の代表に手渡すのですが、生活科学科は唯一の男子生徒である長谷川君が代表でした。生活科学科の男子生徒入学の道を開いた生徒でもあります。とても感慨深かったです。体育科は野球部の岡本君、普通科は久語絢子さんでした。私の式辞では3年間の学校の振り返りを交えながら高校時代の経験から学んだことを活かして感謝の気持ちを忘れずに頑張してほしいこととシャネルというブランドを立ち上げたココ・シャネルの言葉「20歳の顔は自然から授かったもの、30歳の顔は自分の生き様、だけど50歳の顔にはあなたの価値がにじみ出る」を引用し、50歳の時に良かったと思える生き方をして欲しいことを伝えました。森岡PTA会長の保護者の立場での3年間の思いが込められた祝辞は、卒業生にも響いたことと思います。卒業生からいただいた記念品は、教室のプロジェクタースクリーンと校歌

のプレートです。ICT活用授業や歌えなかった校歌を大切に残したいという思いを込めた記念品でした。送辞では2年生の田中君が卒業生に向けて在校生の思いと引き継ぐ覚悟を言葉に託していました。そして今年

の答辞は各学科代表が述べる形をとりました。新型コロナによる影響から今までとは違った3年間を送った学科毎の声を聞きたかったからです。生活科学科の岡本さんは、課題研究にかけた思いを、体育科の山口君は目標を見失いそうになりながらも頑張ってきたことで達成できたことを、普通科の西山君は受験勉強を含めた学校生活で感じた思いを、実際に

体験したものには分からない言葉として伝えてくれ、とても感動しました。素晴らしい内容でした。ご来賓の方々からも「感動して涙が出た、よかった」というお言葉をいただきました。生徒退場のシーンも担任への思いを全員で言葉にして伝えるなど最後まで素晴らしい卒業式でした。私が本校に着任以来考えていた3学科代表による答辞を実現でき、学科生の思いを聞いたとても感慨深い卒業式となりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう！次のステージでのご活躍を期待しています。

生徒が退場した後は、保護者代表挨拶に続き大橋主任が挨拶。保護者には教室も覗いていただき、無事卒業式を終了することができました。ご協力いただいた先生方、ご来賓の皆様、卒業生ご家族の皆様、本当にありがとうございました。（右の校歌銅板、私も「社」を作成させていただきました）

さて、早いもので学年末考査も終わり、2月も終わり、3月を迎えます。いよいよ令和5年度に向けた準備が加速していきます。27日に終了した願書受付では普通科は156名（定員136名）、生活科学科は16名（定員20名）でした。28日から志願変更が始まり、3月2日に受検者が確定します。受検生の皆さんは体調を整えて、持てる力を発揮できるように頑張ってください。在校生の皆さんは、受け入れ準備と共に次の学年に向けた準備を進めていきましょう。野球部の選抜大会の応援参加もよろしくお願いします。

